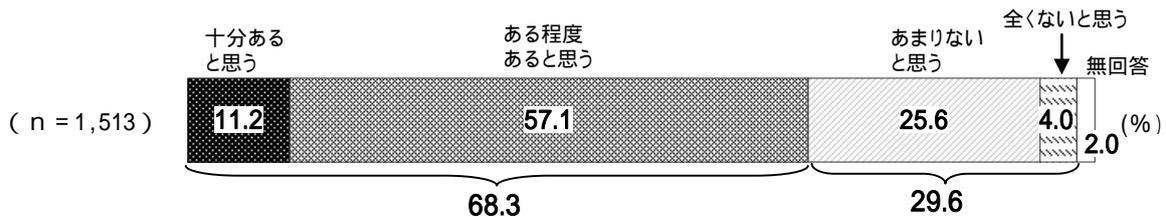


## 11.【食育について】

### (1) 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識

問 38 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについての知識があると思いますか。( 1 は1つ)

<図表 38 - 1> 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識



健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識について聞いたところ、「十分にありと思う」(11.2%)と「ある程度ありと思う」(57.1%)を合わせた『ありと思う』(68.3%)は、約7割となっている。一方「全くないと思う」(4.0%)と「あまりないと思う」(25.6%)を合わせた『ないと思う』(29.6%)は約3割となっている。(図表38 - 1)

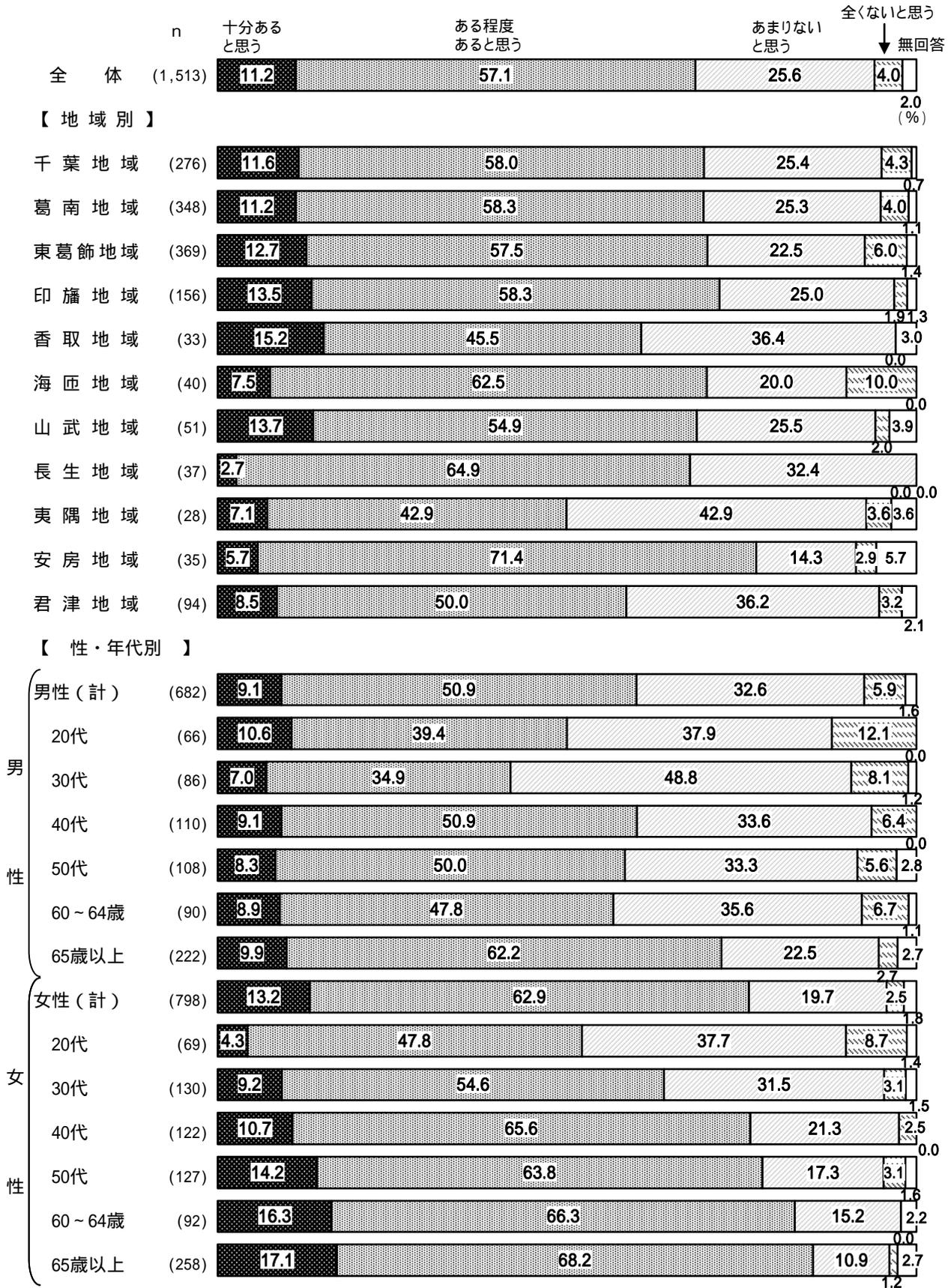
#### 【地域別】

地域別にみても、『ありと思う』で“安房地域”(77.1%)が約8割と他の地域に比べ多くなっている。(図表38 - 2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみても、『ありと思う』で女性65歳以上(85.3%)が8割台半ばで他の年代に比べ多くなっている。(図表38 - 2)

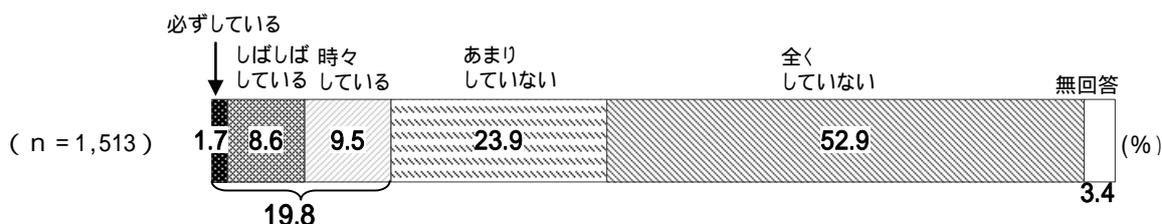
<図表 38 - 2> 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識 / 地域別、性・年代別



## (2) 県や国が策定した食生活上の指針の活用状況

問 39 県で提案している「ちば型食生活食事実践ガイドブック(グー・パー食生活ガイドブック)」又は食生活上の指針として国が策定した「食事バランスガイド」等を参考にして、食生活を送っていますか。( は1つ)

<図表 39 - 1> 県や国が策定した食生活上の指針の活用状況



県や国が策定した食生活上の指針の活用状況を聞いたところ、「必ずしている」(1.7%)と「しばしばしている」(8.6%)、「時々している」(9.5%)を合わせた『している』(19.8%)は、約2割となっている。一方、「全くしていない」(52.9%)は5割を超えている。(図表39-1)

### 【地域別】

地域別にみても、『している』は“香取地域”(24.3%)が2割台半ばと他の地域に比べ多くなっている。一方、「全くしていない」は全ての地域で『している』の割合を上回っている。

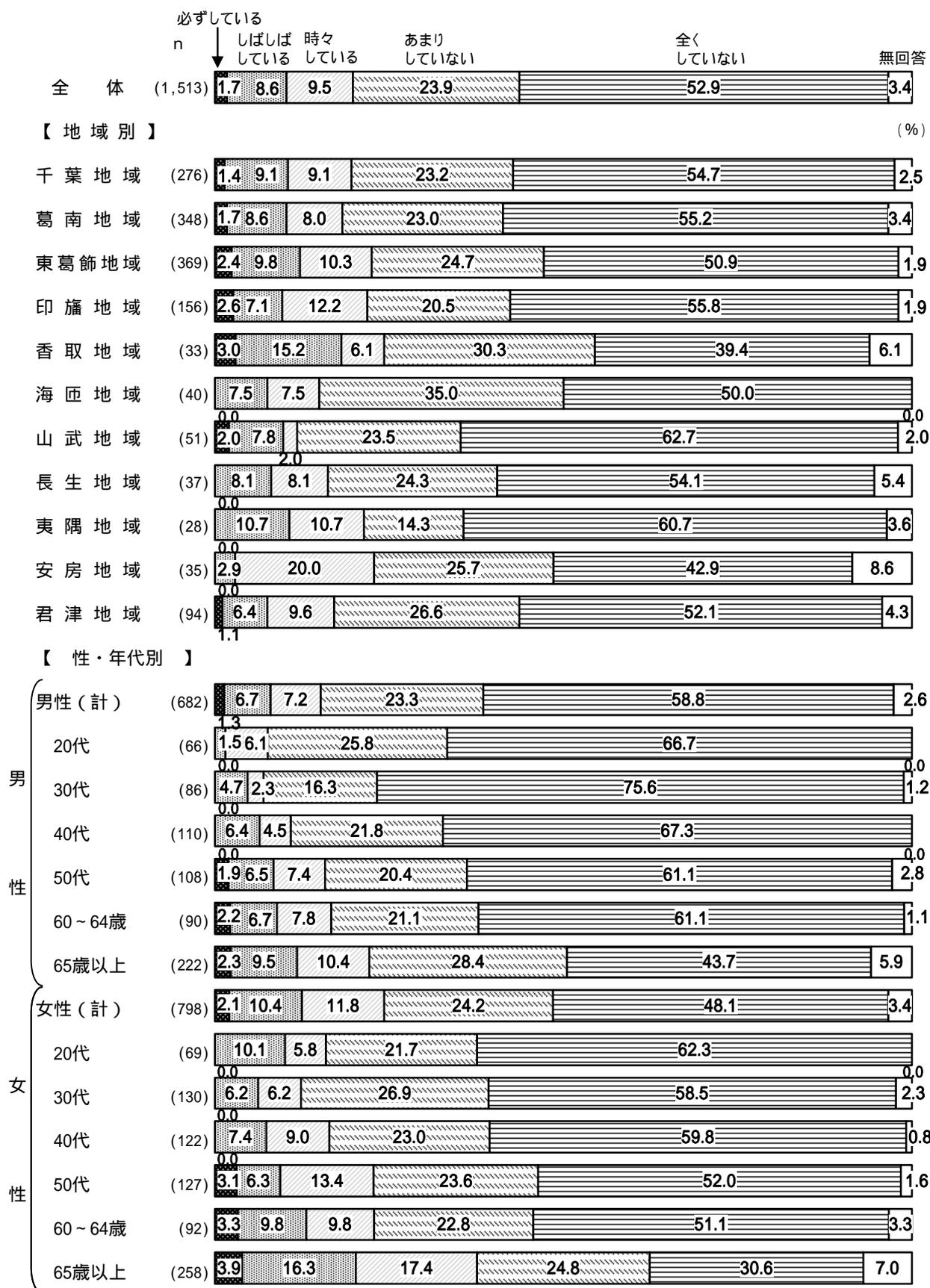
(図表39-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみても、『している』は男女ともに年代が上がるほど割合が高くなっている傾向がみられ、女性65歳以上(37.6%)では約4割、男性65歳以上(22.2%)では2割を超えている。

(図表39-2)

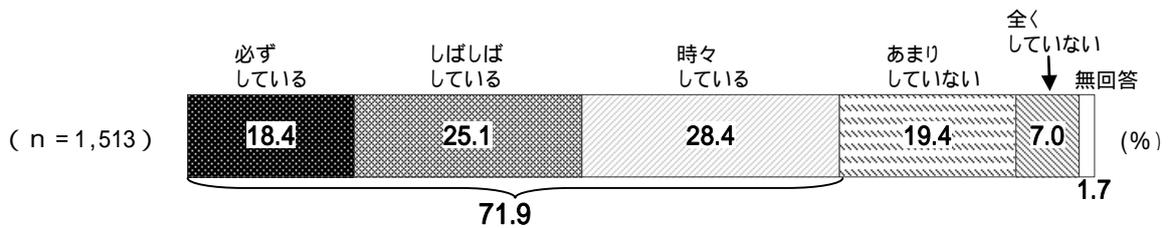
< 図表 39 - 2 > 県や国が策定した食生活上の指針の活用状況 / 地域別、性・年代別



### (3) 食を通じたコミュニケーションの充実度

問 40 家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなど、食を通じたコミュニケーションを充実させていますか。( は1つ)

<図表 40 - 1> 食を通じたコミュニケーションの充実度



食を通じたコミュニケーションの充実度を聞いたところ、「必ずしている」(18.4%)と「しばしばしている」(25.1%)、「時々している」(28.4%)を合わせた『充実させている』(71.9%)は、7割を超えている。(図表40 - 1)

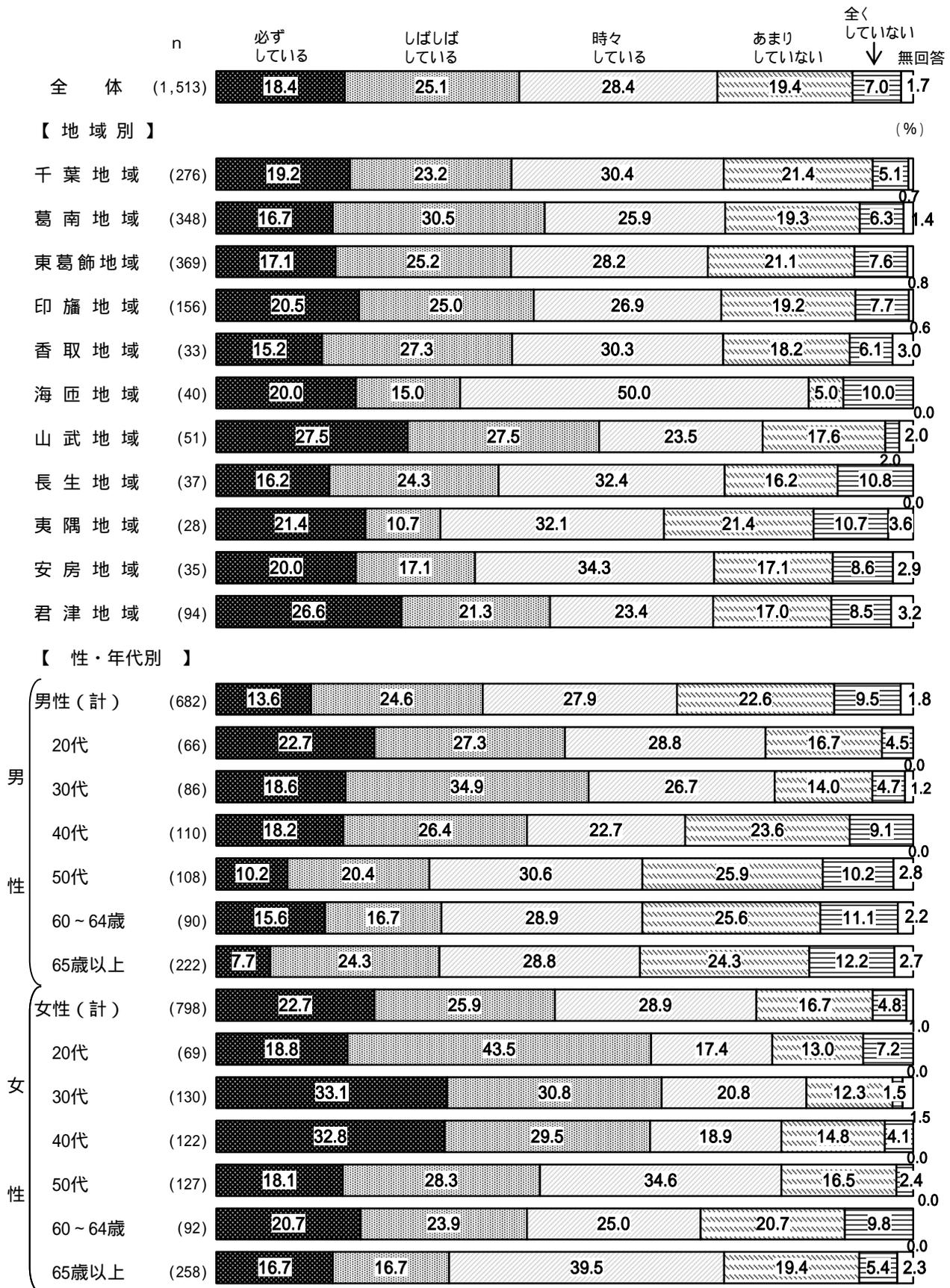
#### 【地域別】

地域別にみても、『充実させている』で“海匠地域”(85.0%)が8割台半ばと他の地域に比べて多くなっている。(図表40 - 2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみても、『充実させている』は女性では30代(84.7%)が8割台半ば、男性では30代(80.2%)が8割と他の年代に比べて多くなっている。(図表40 - 2)

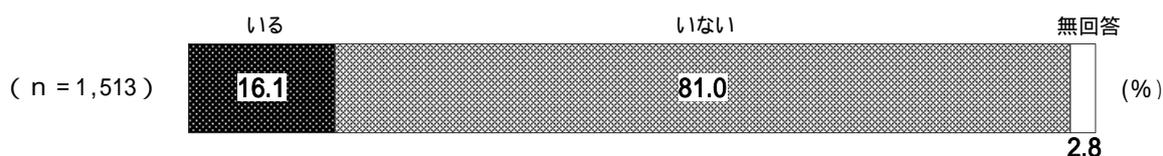
<図表 40 - 2> 食を通じたコミュニケーションの充実度 / 地域別、性・年代別



#### (4) 直近1年以内の農林漁業に関する体験 参加率

問41 直近1年以内に、あなた又はあなたの家族の中で農林漁業に関する体験に参加したことがある人はいですか。( は1つ)

<図表41-1> 直近1年以内の農林漁業に関する体験 参加率



本人ならびに家族の直近1年以内の農林漁業に関する体験の参加率を聞いたところ、「参加したことがある人はいる」(16.1%)は、1割台半ばとなっている。(図表41-1)

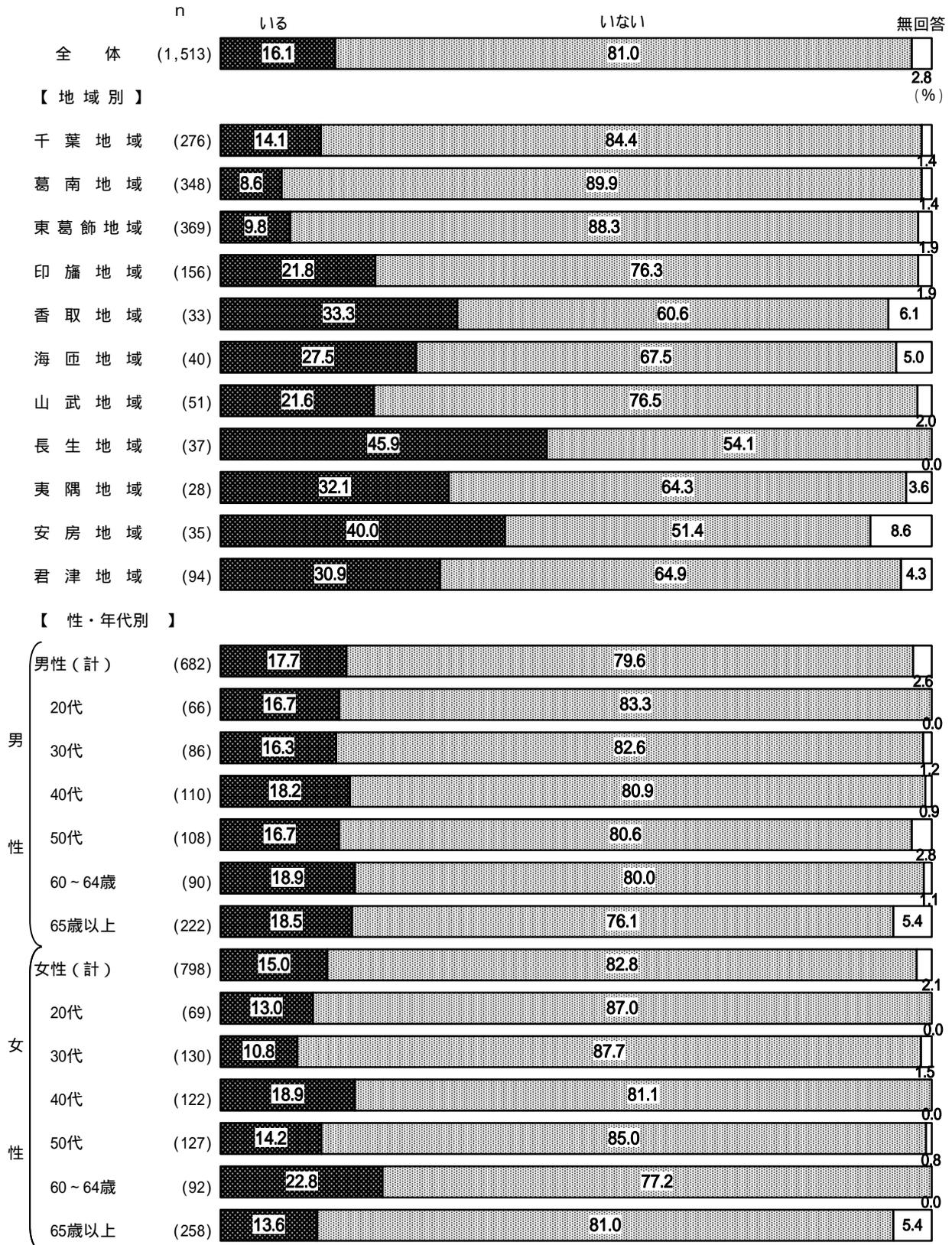
##### 【地域別】

地域別にみても、「参加したことがある人はいる」では“長生地域”(45.9%)が他の地域に比べ多くなっている。一方、“葛南地域”(8.6%)が最も少なく約1割となっている。(図表41-2)

##### 【性・年代別】

性・年代別にみても、「参加したことがある人はいる」では女性60～64歳(22.8%)が2割を超え、他の年代に比べて多くなっている。(図表41-2)

<図表 41 - 2> 直近 1 年以内の農林漁業に関する体験 参加率 / 地域別、性・年代別



## ( 5 ) 郷土料理・伝統食・行事食などの認知度

問42 我が国では、四季折々の様々な食材に恵まれ、長い年月を経て地域と結びついた郷土料理、伝統食、行事食、配膳方法、作法などの食文化が形成されていきました。

あなたがお住まいの地域の郷土料理や伝統食などを、家庭で何種類作ることがありますか。

( 1 は1つ )

<図表 42 - 1> 家庭で作ることがある郷土料理・伝統食・行事食などのメニュー数



家庭で作ることがある郷土料理・伝統食・行事食などのメニュー数を聞いたところ、「7種類以上」(10.6%)が1割、「5~6種類」(14.1%)が1割台半ば、「3~4種類」(21.0%)「1~2種類」(21.4%)は共に2割を超えている。一方、「作ったことがない」(29.4%)は約3割となっている。

(図表42 - 1)

### 【地域別】

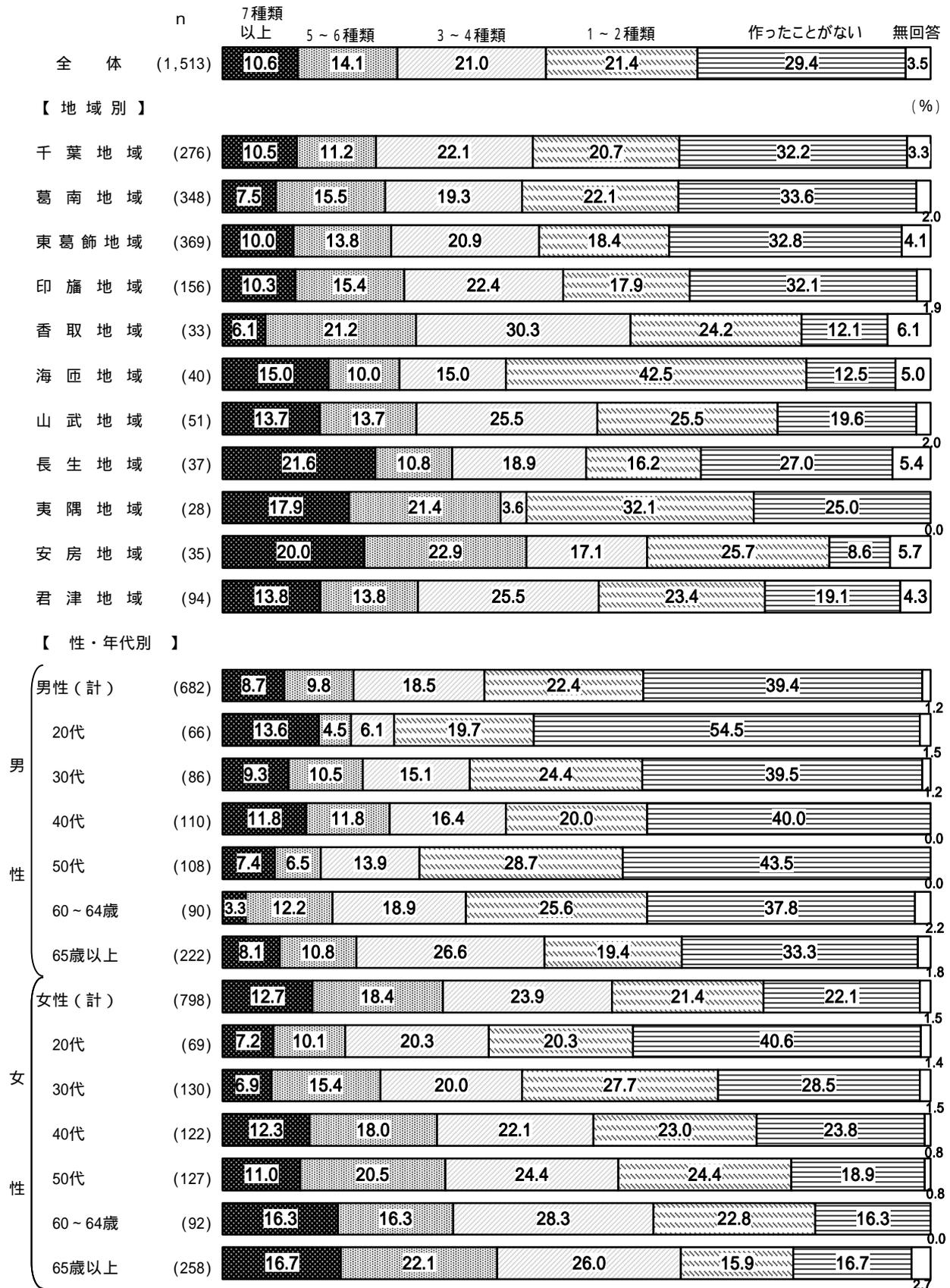
地域別にみると、「作ったことがない」は“千葉地域”(32.2%)、“葛南地域”(33.6%)、“東葛飾地域”(32.8%)、“印旛地域”(32.1%)の4つの地域で3割を超え、他の地域に比べ多くなっている。(図表42 - 2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「作ったことがない」は男性では20代(54.5%)が5割台半ば、女性では20代(40.6%)が4割と他の年代に比べ多くなっている。(図表42 - 2)

<図表 42 - 2 > 家庭で作ることがある郷土料理・伝統食・行事食などのメニュー数

/ 地域別、性・年代別



このほかに、「食育について」やここまでの質問（問38～問42）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、106人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「食育について」の自由回答（抜粋）

「食」に関しては、現在居住している地域の「食」に染まらず、出身地や「おふくろの味」を大事にしているケースの方が多いのではないか。（女性・50代・東葛飾地域）

1．ガイドブック、 2．バランスガイド。パソコンも出来ないので、このようなことがあること自体知らない。（男性・60～64歳・印旛地域）

ガイドブックの存在を知らなかった。どのように周知されているのか？広報等でもあまり見かけないが、もっと周知しても良いのではと思う。（男性・50代・葛南地域）

ガイドブックやバランスガイドを見たい。でも、一緒に食卓を囲む機会がないと作るのももったいない。仕事で時間がないと...。（女性・30代・葛南地域）

自分でも無知な部分もありますが、子供もいるので、できる範囲で季節や行事にちなんで話をしたり、料理を作るようにしていますが、どうしても手のかかるものは買ってくる事が多いです。学校給食などで出してくれたり、由来も少し教えてくれるとありがたいです。

（女性・30代・香取地域）

正月の雑煮、大晦日のそば以外は作ったことがないです。（男性・30代・東葛飾地域）

問42、もっと手作りの伝統食や行事食を食べたいですが、大変なイメージ。簡単レシピをもらえると嬉しいです。（男性・20代・千葉地域）

なかなか家庭で四季折々の伝統食や行事食が作れないので、地域で公民館等で企画してほしい。

（女性・40代・葛南地域）

農家の直接販売スタンドが多数あって、新鮮な野菜やお米や果物が手に入るので、大変恵まれています。（女性・60～64歳・印旛地域）

地域の郷土料理がわかりません。子供達が学校行事で農業を体験する機会があればいいと思います。

（女性・30代・千葉地域）

バランスの良い食生活がいかに大切かは、年を重ねてやっとわかってきたくらいなので、それを子供達に伝えていくことは重要だと思います。家庭での食事の大切さを親子で話す機会を多く持つことが大切。（女性・50代・海匝地域）